

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化財課長 丹羽野 裕	電話番号	0852-22-6468
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	古墳の丘古曾志公園事業		
目的	(1) 対象	県民及び県外からの来訪者	
	(2) 意図	古墳などの史跡にふれあう憩いの場所を提供する。	
事業概要	古代の文化遺産の保存と活用を図り、県民の古代文化についての理解と認識を深める。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 事故発生件数	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0	件
		取組目標値						
	式・定義 事故発生件数	実績値	0.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	6,142	6,142
うち一般財源(千円)	6,122	6,115

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・コスト削減のため、教育機能を持った公園としての位置付けを平成19年度から変更して一般の公園として開放している。
 ・指定管理者の努力により園内は良好な状態に保たれているが、建築物・構造物・備品共に老朽化が進行している。
 ・H27.9月に「島根県立古曾志公園運営(利用促進)委員会」を開催し、地元自治会と意見交換を行った際、「整備されなくなって利用しなくなった」等の意見があった。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・適切な維持管理により、良好な環境が保たれており、公園内での事故は発生していない。
 ・指定管理者によるイベント開催や周辺自治会、幼稚園、小学校への広報活動により、利用促進を図っている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」	・建築物や構造物の発錆劣化や機器の故障等、全般的に老朽化が進行
②困っている状況が発生している「原因」	・開園後20余年を経過 ・経費的な問題で抜本的な修繕が困難
③原因を解消するための「課題」	・定期的な園内の見回りや施設の保守点検 ・老朽化した個別施設・機器ごとに、費用対効果をふまえて今後の対応を検討

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・利用者の安全確保を最優先とし、施設の適切な維持管理に努める。
 ・費用対効果や長寿命化の観点から、良好な利用環境を確保するための設備の修繕に努め、事故を誘発するおそれのある設備、不要な投資を招く可能性のある設備の撤去について検討する。
 ・埋蔵文化センター等の協力を得て、各種イベントの開催や学校等への広報活動を積極的に行い、利用促進を図る。

9. 追加評価(任意記載)